



民生委員制度110周年に向けて

守山市民生委員児童委員協議会

会長 富田 秀圓



昨年度は、民生委員制度創設100周年を迎え、全民児協連ならびに県民児協連において盛大に記念大会が開催され、当市民児協においても記念事業に取り組んできました。

今年は、10年先を見据えての大きな一歩を踏み出す年であると捉えています。介護保険制度が見直され、介護事業と日常生活支援体制事業の二本立ての新総合事業となり、取組みが進められています。介護事業については、おおむね従来と変わらないサービスが提供されています。日常生活支援体制事業は新総合事業として新たな取り組みであり、本市では

各学区に生活支援コーディネーターを配置し、学区社協を中心にお互いが健康で支え合い誰もが幸せと感じる地域づくりに取り組まれています。この事業では、私たち民生委員・児童委員に対して大きな推進力として期待されています。また、「100周年活動強化方策」の重点項目の中に、「地域のつながり、地域の力を高めるために」住民同士が支え合える仕組みづくりへの協力が掲げられています。現在の活動をより充実させるとともに、自治会をはじめ各種団体との連携を深め、誰もが幸せと感じ、お互いが支え合い・安心して生活できる福祉の町づくりを具現するために力強い一歩を踏み出します。

平成30年度総会・全員研修会

5月28日（月）守山市民ホール小ホールにおいて、市民生委員児童委員協議会総会が開催され、平成29年度活動報告および決算、平成30年度活動計画案および予算案を審議、いずれも原案通り可決承認されました。

国は社会福祉制度や施策のあり方を見直しており、特に高齢者の「地域包括ケアシステム」の構築、生活困窮者自立支援制度における「包括支援」の提供は、これからの社会福祉の根幹を示すものと考えられます。私たち民生委員・児童委員はこれらをふまえて、地域で生じている課題や住民からの相談に応じる活動を続けてきました。これからも「地域共生社会」の実現に向けて、より一層委員活動の充実、発展に繋げる活動を行うことを確認しました。



続いて全員研修は、映画「いのちがいちばん輝く日」の視聴を行いました。

近江八幡市にあるがんなどの終末期を迎えた人たちが入院しているホスピス「希望館」。しかし、入院患者やその家族の表情はとても穏やかで、笑顔も見られます。これは「希望館」のスタッフによって実現しています。

ある日外来通院を続けていた一人の患者が入院しその日から病棟スタッフの、患者とその家族に「寄り添う」ケアが始まりました。やがて患者は穏やかな終焉を迎えるという内容でした。会場は涙する人が多数で、感動した1時間30分でした。（川本 隆志 記）

平成30年度 県外研修



6月27日(水)、守山市民生委員児童委員総勢114名は、三重県桑名市を訪れ研修を行いました。

桑名市は滋賀県の東近江市に近く、永源寺からトンネルで三重県に通じています。昭和34年の伊勢湾台風で被害が大きかった所です。人口は守山市の2倍ほどで学区民児協が12あります。数ある活動のなかで特に、「地域包括ケアシステム」についての話を聞きました。我々が推進している「第2層協議体の設置」が各学区

で行なわれており、なかでも30年3月設置の益世地区、精義地区についてその内容を聞きました。住民が感じている「お困りごと」のお手伝いを、具体的に「支え愛の会」や「おたすけ隊」と称して、それらの設立等に民生委員が活躍しています。

今後、守山市においても「地域の支え合い活動」を具体的に考えていかねばならないと思います。

(水野 民男 記)



障害児・者福祉部会

私たち民生委員・児童委員は守山市全体で、4つの部会に分かれ、資質の向上と活動の推進のための研修を実施しています。平成28年12月に改選があり、市内40名が3年間同じ部会で活動をします。

昨年は、障がい児・者を理解するために、守山市障害福祉課、守山市通所施設連絡協議会、守山・栗東障害者相談支援センターみらいく、守山市発達支援課などから講師に来ていただき、研修を重ねました。また、学校教育課から特別支援学級のお話を聞き、2月には、守山市民ホールで毎年行われている「ほたるの子発表会」で一人ひとりができることを一生懸命、堂々と発



表されていたのに感動を受けました。

施設研修として、市内の「蛍の里」「びわこみみの里」、甲南町にある「やまなみ工房」を訪問しました。「やまなみ工房」では、ユニークな施設長や利用者の方のすばらしい作品に出会うことができました。

今年4月には、守山市障害者スポーツ協会の協力で「ボッチャ」体験をしました。障害のあるなしにかかわらずできる競技で楽しい時間を過ごしました。

今後も、地域の身近な相談相手となれるよう、知識を深め、研鑽に励みたいと思います。

(西井 泉 記)



湖南地域4市主任児童委員交流会

近隣の湖南4市（草津・栗東・野洲・守山）の主任児童委員が一堂に会し、毎年交流会が開催されています。今年は、守山市が開催地で6月15日に市民ホールを会場に実施しました。

この交流会では、主任児童委員の「顔の見える関係づくり」「各市の活動の情報交換」「各委員のリフレッシュ」を主な目的としています。

そこで、午前中は各市の主任児童委員の活動報告を行い、その後グループ討議として、活動を通して気づいたことや課題、活動の情報交換をおこないました。

午後からは「リフレッシュ」と「今後の活動の参考」になるよう、作業所ポプリンさんのコーヒーをいただきながら、もりの風こども園のママさんコーラス『もりゴス』さんの素晴らしい歌声を聞かせて頂くことができました。そして、地域で活動されている方々に「マジック」をご披露頂き、巧みな手さばきと話術を楽しむことができました。このマジックが、私たちの活動の中にも取り入れることができたらと考え、数種のマジックを教えて頂きネタ作りに取り組み、自作の道具で互いに発表し合い、失敗にも成功にも笑みがこぼれ

楽しいひと時となりました。

地域に持ち帰りもう少し腕に磨きをかけて、サロンやイベント、それぞれの活動の中で使うことができればと期待しています。

年に一度の交流会ではあるが、自身の活動を見直し、他市の活動からヒントを得ることで、活動をさらに充実させるべく重要な交流会であり、今後も大切にしていきたいと思います。（大崎 滋子 記）



北部地区地域包括支援センターの取り組み

北部地区地域包括支援センターは、河西、速野、中洲学区を担当する圏域センターです。「守山いきいきプラン2015」に基づく、「地域包括支援センターの機能強化」の一環として、市内を3圏域に区分し、順次圏域センターを設置することになり、平成28年10月に北公民館（洲本町）に開所しました。

「地域包括支援センター」には、主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師の3職種が配置され、介護や健康のこと、権利を守ること、様々な相談事、暮らしやす



い地域のためにできることなど、高齢者の暮らしを地域でサポートするための拠点として、介護だけでなく福祉、健康、医療など様々な分野から総合的に高齢者とその家族を支えるための地域の窓口となっています。

圏域の自治会主催のサロンや健康講座に出向いたり、北部包括独自事業として北公民館で介護予防教室「ワンステップチャレンジ」(6～7月)や、「オレンジカフェほっこり庵～絆～」を隔月(奇数月)に開催しています。

(北部地区地域包括支援センター 山本 香織 記)

学区だより 「河西学区」

河西学区（16自治会）は人口増が続いており、今年の7月現在、約5,450世帯、人口約14,390人と守山市でも3番目に人口の多い学区で、高齢化率は約24.5%（自治会別にみると、41.9～13.4%と格差がある）となっています。

河西学区では、29名の委員（民生委員・児童委員27名、主任児童委員2名）が、住民の身近な相談相手として「寄り添い 心がつながる ほっとな河西」のスローガンのもと、“ホットな & ほっとする 河西”を目指して、日々見守り活動等を行っています。

各委員はひとり暮らし高齢者の友愛訪問等々、高齢者との関わりが多いが、河西学区でも「子育て支援」に力を注いでおり、生後3ヶ月児や1歳児を対象とした「赤ちゃん訪問」を行い、お誕生のお祝いのほか、子育



での悩み等も聞いています。

また、小学新1年生の子どもたちには入学のお祝い訪問のほか、学校生活に少し慣れてきた5月には全委員が下校時に小学校まで出迎えに行き、交通ルールを守りながら、楽しく一緒に自宅まで下校する1年生一斉下校同行活動も行っています。

さらに6～7月にかけて、小、中学校と幼稚園、こども園を全委員が訪問し、授業参観や先生方との懇談を通じ情報交換を行うほか、「心と心をつなぐあいさつ運動」では、上記4校園の校門前などに手分けして出向き、「おはようございます」とあいさつを言い交わし、子どもたちの元気な声にエネルギーをもらっていると

（大西 茂 記）

学区担当職員の紹介



吉身：大野 小津：遠藤 玉津：川嶋 河西：中井
守山：柳 中洲：今井 速野：内藤

編集後記

5月の守山市民児協総会に続き、6月を迎えイベントの多い月でした。

学区社協まちづくり合同研修会、自治会・民児協・健康推進員・福祉協力員の4者合同研修会、高齢者のつどい、守山市民児協の県外研修等々無事に終わりました。桑名市の民児協及び社協が地域と一体となって活動している事は大いに勉強になりました。

そんな中、広報研修委員のメンバーでもありました速野学区の西村清典氏がお亡くなりになり、心からお悔やみ申し上げます。

9月初旬はまだまだ残暑厳しい時期です。皆さんとともに日頃の健康に留意し民児委の活動を全うする覚悟です。

（櫻井 武久 記）